



FOREX WEEKLY REPORT

2018年2月19日

(株)新生銀行 市場営業部

SFXM-1802197641

I. 先週の動き

| 通貨 | | | 東京市場 | | | 海外市場 | | | 終日 | |
|---------------------------------------|------|---|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| | | | 始値 | 安値 | 高値 | 安値 | 高値 | 終値 | 安値 | 高値 |
| ドル円 高値 108.89 安値 105.55 | 2/12 | 月 | 108.87 | 108.58 | 108.89 | 108.44 | 108.81 | 108.64 | 108.44 | 108.89 |
| | 2/13 | 火 | 108.66 | 107.68 | 108.78 | 107.40 | 107.84 | 107.82 | 107.40 | 108.78 |
| | 2/14 | 水 | 107.82 | 106.84 | 107.91 | 106.73 | 107.55 | 107.01 | 106.73 | 107.91 |
| | 2/15 | 木 | 107.01 | 106.18 | 107.02 | 106.03 | 106.85 | 106.11 | 106.03 | 107.02 |
| | 2/16 | 金 | 106.13 | 105.55 | 106.35 | 105.76 | 106.40 | 106.26 | 105.55 | 106.40 |
| ユーロ円 高値 133.78 安値 131.61 | 2/12 | 月 | 133.21 | 133.05 | 133.65 | 132.92 | 133.63 | 133.52 | 132.92 | 133.65 |
| | 2/13 | 火 | 133.56 | 132.70 | 133.78 | 132.53 | 133.27 | 133.18 | 132.53 | 133.78 |
| | 2/14 | 水 | 133.18 | 132.37 | 133.36 | 131.61 | 133.38 | 133.23 | 131.61 | 133.38 |
| | 2/15 | 木 | 133.24 | 132.53 | 133.24 | 132.54 | 133.25 | 132.76 | 132.53 | 133.25 |
| | 2/16 | 金 | 132.73 | 132.40 | 133.10 | 131.83 | 132.88 | 131.92 | 131.83 | 133.10 |
| ユーロドル 高値 1.2556 安値 1.2235 | 2/12 | 月 | 1.2249 | 1.2243 | 1.2298 | 1.2235 | 1.2297 | 1.2292 | 1.2235 | 1.2298 |
| | 2/13 | 火 | 1.2292 | 1.2285 | 1.2332 | 1.2310 | 1.2371 | 1.2347 | 1.2285 | 1.2371 |
| | 2/14 | 水 | 1.2352 | 1.2348 | 1.2392 | 1.2275 | 1.2465 | 1.2448 | 1.2275 | 1.2465 |
| | 2/15 | 木 | 1.2451 | 1.2449 | 1.2510 | 1.2458 | 1.2509 | 1.2506 | 1.2449 | 1.2510 |
| | 2/16 | 金 | 1.2506 | 1.2497 | 1.2556 | 1.2393 | 1.2542 | 1.2407 | 1.2393 | 1.2556 |

◆先週の動き

【2/12】週明けのドル円は、朝方につけた108.94を高値として、日本の祝日により本邦勢不在の中108円台半ばで膠着。海外時間に入ってから値動きの乏しい展開は継続。NY時間に108.44(安値)をつけた後は「トランプ米大統領は4兆4,000億ドル規模の2019会計年度予算教書」との報道にも市場の反応は限定的だった。週明けのユーロドルは、朝方からユーロ買いが先行し1.2298(高値)まで上昇。その後海外時間には欧州債利回りの低下に連れて1.2235(安値)まで弱含んだが、引けにかけては高値近辺まで値を戻した。

【2/13】東京時間午前のドル円は、9時前に108.78(高値)をつけた後も日経平均株価が先週末比プラス圏で推移する中で底堅く推移。午後に入り同株価が下落色を強めたことでドル円も軟調となり、先週末比でマイナスに転じるとリスク回避の円買いの流れが強くなり、108円割れまで下落。欧州時間に入ってから上値の重い展開が継続し、107円台半ばで小動きとなった。NY時間は、マスター・クリーブランド連銀総裁「最近の株式市場の混乱は自身の経済見通しに影響せず」、パウエルFRB議長「金融安定へのいかなるリスクにも警戒続ける」等の発言には大きな反応無く、米株が軟調推移する中、約5ヶ月振りの安値となる107.40をつけた。引けにかけては米株の下げ幅縮小に連れて107円台後半まで小幅に戻した。東京時間のユーロドルは、米長期金利低下を背景として欧州通貨に対しドルが売られる中、1.2285の安値からじりじりと上昇。海外時間に入ってからもじり高の流れは継続し、NY時間に1.2371(高値)をつけた後はそのまま高値近辺で推移して引けた。

【2/14】東京時間のドル円は、日経平均株価が前日比プラス圏で寄り付く中、高値となる107.91まで小幅上昇するも、株価の反落に連れて円買いが強まると、米長期金利の低下も相まって昨年9月来安値(107.32)を割り込み106.85まで下落。日経平均株価はその後21000円割れから値を戻しドル円は107円台を回復。欧州時間は主要な米経済指標の発表を控え107円台前半で推移。NY時間に発表された、米1月消費者物価指数(前月比+0.5%/予想+0.3%)に市場は大きく反応し、発表直後は為替市場はドル買いに傾斜しドル円は一時107.50越えまで上昇するも、米長期金利が急騰(10年債利回りは2.9%超え)、米株価先物が急落し、リスクオフの円買いに傾斜し、2016/11以来の安値となる106.73まで下落。米株式市場寄り後、株価は下げ幅を縮小しプラス圏へ堅調推移する中、為替相場はドル売り・円売り地合いへ転換しドル円は107円丁度を挟んで小動きとなった。東京時間のユーロドルは、米指標を控え様子見ムードとなる中、欧州時間にかけて1.23台後半で小動き。NY時間に入り強い米消費者物価指数が発表され米長期金利が上昇すると、一時はドル買いで反応し1.2275(安値)まで下落。しかしその後は、米長期金利は上昇を続ける一方でインフレ加速が意識され、全般的なドル売り地合いとなり反発。1.2465(高値)まで上値を伸ばして引けた。



【2/15】ドル円は、早朝につけた107.02(高値)が高値。東京勢参入と共にドル売りが再燃し、日経平均株価は前日比プラス圏で推移したものの前日安値を割り込んだ。更に麻生財務大臣の「介入しなければいけないほどの急激な円高ではない」との発言が契機となり、106円台前半まで下落。欧州時間に入ると、米長期金利の上昇に連れて全般的にドルが買い戻され106.80まで上昇するも、米株式先物市場が軟調な展開となりドルが売られ106.20まで弱含んだ。この日発表された米1月生産者物価指数コア(前月比+0.4%/予想+0.2%)、同鉱工業生産(前月比-0.1%/予想+0.2%)等経済指標は強弱混合となり反応は限定的だった。NY午後には日経新聞早刷りにて日銀総裁人事案が報じられると(副総裁に両宮日銀理事、若田部早稲田大学教授)、ドル円は106.85まで急騰するもドル売りトレンドは変わらず、ドル円は再度下落基調となり106.03(安値)まで下値を拡大して引けた。東京時間のユーロドルは、1.24台半ばで膠着となる中、午前中につけた1.2449がこの日の安値。その後米長期金利の上昇に伴いドルが買われ、1.2510(高値)まで小幅に上昇したが、海外時間に入ってから東京時間につけたレンジ内での小動きに留まり、1.2500近辺で引けた。

【2/16】ドル円は東京時間午前を106円台前半で推移するも、13時過ぎに106円を割り込むと一気に105.55と2016年11月以来の安値を更新。その後、財務省と金融庁、日銀の3者会合が開かれるとの報道や、麻生財務大臣の「為替市場の動向について緊張感を持って対応していく」との発言により一時106円台まで反発。欧州時間は本邦の円高牽制を受けドル買い優勢となった。NY時間では米1月住宅着工件数(132.6万件/予想123.4万件)や米2月ミシガン大消費者景況感指数(99.9/予想99.5)が市場予想を上回るも反応は乏しく、「モラー特別検査官が？選挙中のハッキングでロシア13人および企業3社を訴追」とのヘッドラインにより106円割れまで下押し。その後は再びドル買いに傾斜し106.40(高値)まで上昇し高値圏のままNYを引けた。東京時間のユーロドルは1.2500レベルで始まると、全般ドル安の流れに沿って1.2556(高値)まで小幅上昇し、欧州時間序盤まで高値圏で揉み合った。その後は一転してドル買い優勢に転じると、NY入り後は米国3連休前のポジション調整も相俟って1.2393(安値)をつけ、NYクローズでは1.2409まで戻して引けた。

II. 今週の予想

| 通貨 | 今週予想 | | コメント |
|--------|--------|--------|------|
| | 安値 | 高値 | |
| ドル/円 | 105.00 | 107.50 | レンジ |
| ユーロ/円 | 131.00 | 133.50 | レンジ |
| ユーロ/ドル | 1.2300 | 1.2550 | レンジ |

◆今週の予想

今週のドル円相場はレンジ相場と予想する。先週は年始から始まったドル安・円高の流れが続き、金曜日には遂に2017年の安値を割込み105円台に突入した。市場のセンチメントはドル安・円高方向に傾いているが、先週一週間で3円程度下落と久しぶりに値幅を伴った動きとなった事もあり、一旦は下攻め小休止と考えている。テクニカル面では下値の明確なサポートラインが無く、目先105円00銭が目途となろう。

今月発表された米1月雇用統計に端を発した「VIXショック」だが、NYダウ30種平均株価が急落時より半値以上値を戻すなど、米国の債券・株式市場は共に落ち着きを取り戻してきている状況。今週は、19日米国休場、中国も旧正月のため21日まで休場と市場参加者が乏しい中、「リスクオフ」をテーマとした為替市場での追随売りを浴びせる展開ではないと考える。

22日未明にはFOMC議事要旨(1月30日～31日開催分)の発表が予定されている。3月利上げの確実性を高めると共に2018年の利上げ回数見通しを4回に引き上げることが出来るかに注目が集まる。又、FRB高官の発言機会も多く、今月14日に発表された米1月消費者物価指数の好結果を織込んだ上での金融政策の見通し(利上げペースが加速するか)への言及の有無にも注目が集まる。

ユーロも今週は動意の乏しいレンジ相場と予想する。22日にECB議事要旨の発表が予定されているが、市場では3月会合でのフォワードガイダンス変更如何が焦点となっており、22日に発表される(1月会合の)議事要旨への為替市場の反応は限定的だろう。



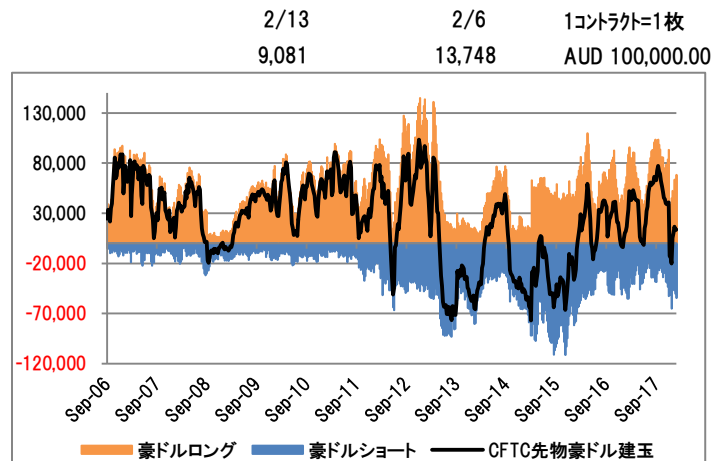
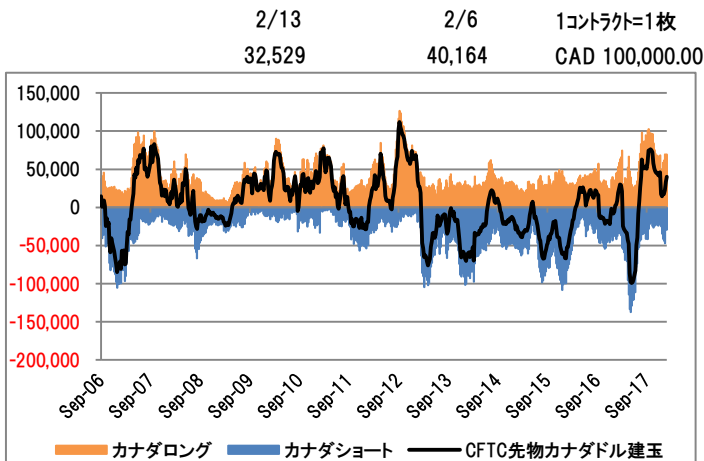
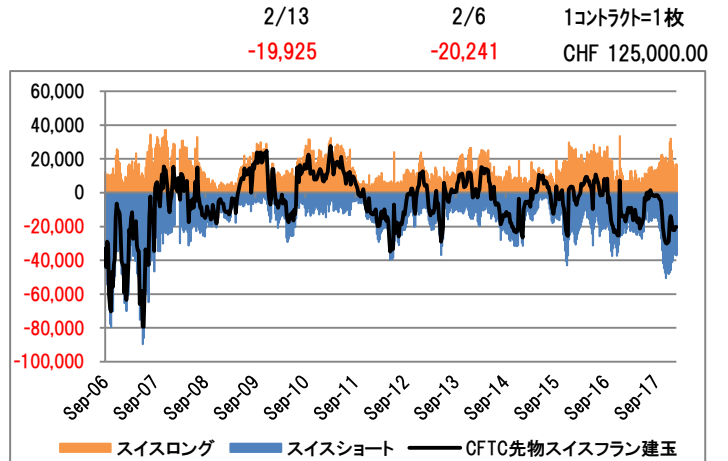
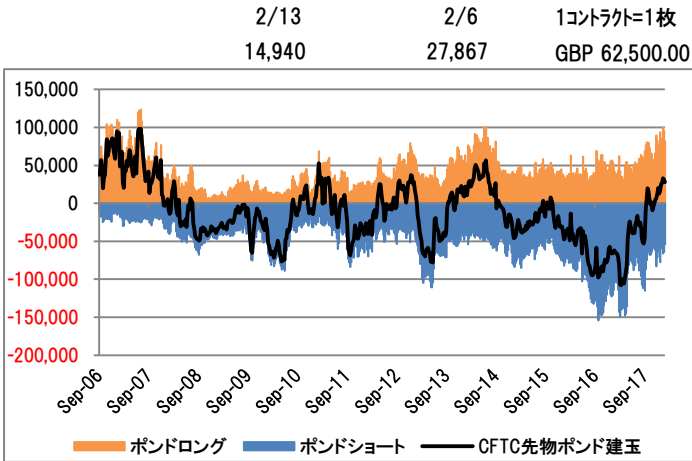
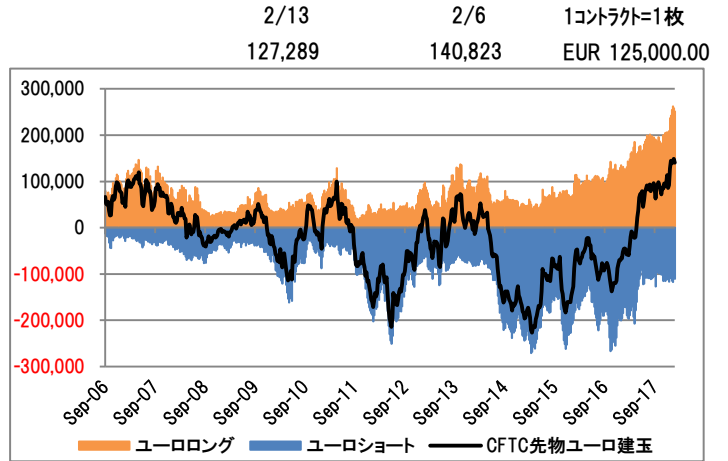
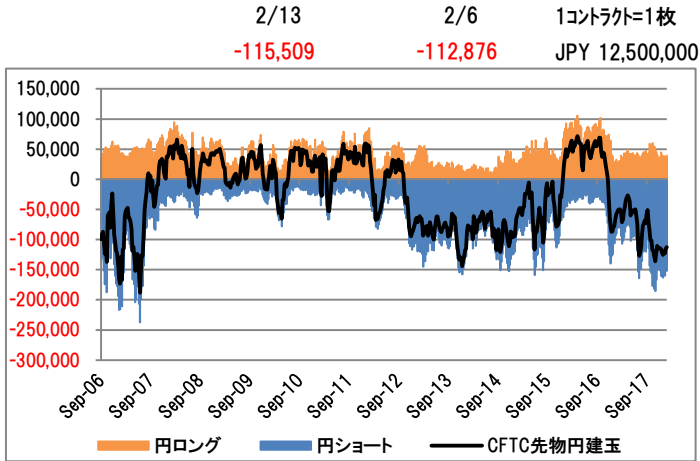
Ⅲ. 経済指標カレンダー

| 日付 | 時間 | 国 | 月 | 経済指標、要人発言 |
|-------|-------------------|-------|-----------|--------------------------------|
| 2月19日 | 米国市場休場(プレジデントデー) | | | |
| | ユーロ圏財務相会合(ブリュッセル) | | | |
| | 8:50 | 日 | 1月 | 貿易収支 |
| 2月20日 | EU財務相理事会(ブリュッセル) | | | |
| | 9:30 | 豪 | | RBA議事録 |
| | 19:00 | 独 | 2月 | ZEW調査(現状/期待指数) |
| | 0:00 | 欧 | 2月 速報値 | 消費者信頼感 |
| 2月21日 | 8:30 | 豪 | 1月 | ウエストバック 景気先行指数(前月比) |
| | 10:10 | 日 | | 布野日銀審議委員、発言 |
| | 17:30 | 独 | 2月 速報値 | マークイット/BMEドイツ製造業PMI |
| | 18:00 | 欧 | 2月 速報値 | マークイット ユーロ圏コンポジット/製造業/サービス業PMI |
| | 18:30 | 英 | 1月 | 失業率(社会保障受給) |
| | 18:30 | 英 | 1月 | 失業保険申請件数推移 |
| | 18:30 | 英 | 12月 | ILO失業率(3ヵ月) |
| | 21:00 | 米 | | MBA住宅ローン申請指数 |
| | 23:00 | 米 | | ハーカー・フィラデルフィア連銀総裁、発言 |
| | 23:15 | 英 | | カーニーBOE総裁、発言 |
| | 23:45 | 米 | 2月 速報値 | マークイット米国製造業PMI |
| | 0:00 | 米 | 1月 | 中古住宅販売件数 |
| | 4:00 | 米 | | FOMC議事録(1/30-1/31) |
| | 2月22日 | 14:15 | 米 | |
| 18:00 | | 独 | 2月 | IFO企業景況感指数 |
| 18:30 | | 英 | 第4四半期 速報値 | GDP(前期比) |
| 21:30 | | 欧 | | ECB議事要旨 |
| 22:30 | | 米 | | 新規失業保険申請件数 |
| 22:30 | | 加 | 12月 | 小売売上高(前月比) |
| 0:00 | | 米 | 1月 | 景気先行指数 |
| 0:00 | | 米 | | ダドリーNY連銀総裁、発言 |
| 2:10 | | 米 | | ボスティック・アトランタ連銀総裁、発言 |
| 2月23日 | 8:30 | 日 | 1月 | 全国CPI(前年比) |
| | 16:00 | 独 | 第4四半期 確報値 | GDP(季調済/前期比) |
| | 19:00 | 欧 | 1月 確報値 | 消費者物価指数(前年比) |
| | 22:30 | 加 | 1月 | 消費者物価指数(前年比) |
| | 1:00 | 米 | | FRB金融政策報告書 |
| | 3:30 | 欧 | | クーレECB理事、発言 |
| | 5:40 | 米 | | ウィリアムズ・サンフランシスコ連銀総裁、発言 |



IV. IMM投機勘定

- ★ IMM投機勘定とは？IMM(シカゴマーカンタイル取引所内にある国際通貨取引部門)投機筋のポジション建て玉。
- ★「買い越し」(ネットロング)ポジションが過剰になると相場が天井を示し下落する可能性が高いといわれています。
- ★「売り越し」(ネットショート)ポジションが過剰になると相場が底を示し上昇する可能性が高いといわれています。





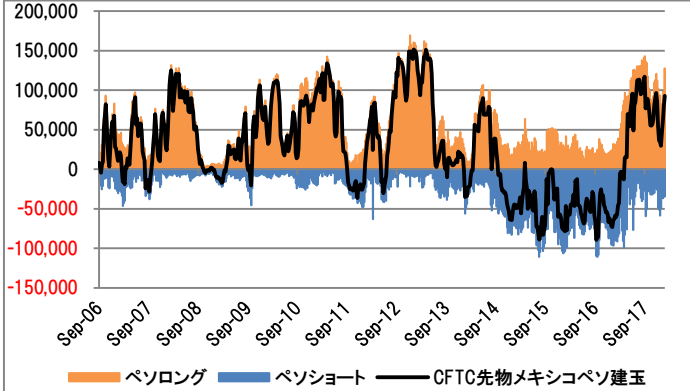
IV. IMM投機勘定

★ IMM投機勘定とは？IMM(シカゴマーカンタイル取引所内にある国際通貨取引部門)投機筋のポジション建て玉。

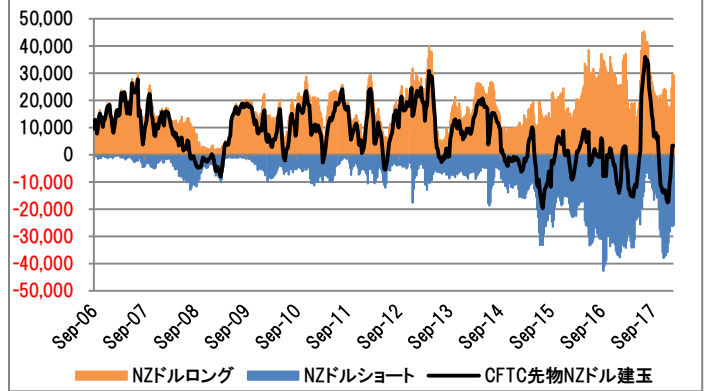
★「買い越し」(ネットロング)ポジションが過剰になると相場が天井を示し下落する可能性が高いといわれています。

★「売り越し」(ネットショート)ポジションが過剰になると相場が底を示し上昇する可能性が高いといわれています。

2/13 2/6 1コントラクト=1枚
96,778 92,855 MXN 500,000.00

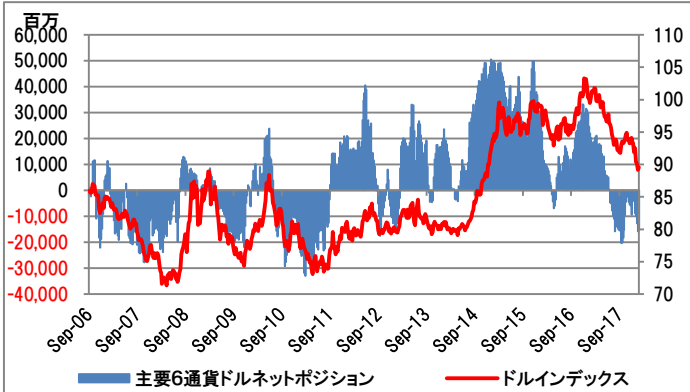


2/13 2/6 1コントラクト=1枚
2,220 3,332 NZD 100,000.00



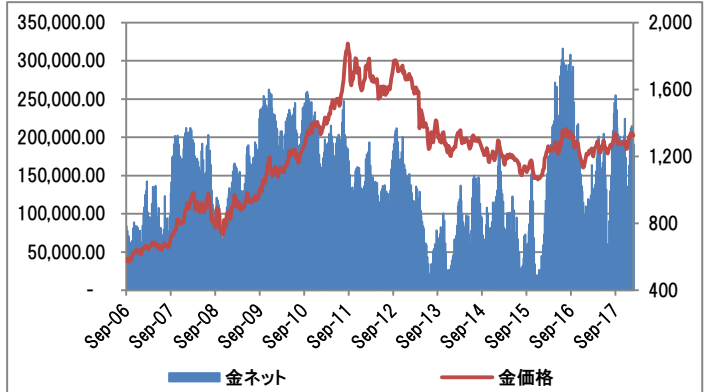
★対8通貨のドルネットポジションとドルインデックス

2/13 2/6
-109.5億ドル -153.7億ドル



★COMEX金投機筋ネットポジションと金価格の推移

2/13 2/6 1コントラクト=1枚
175,606 190,877 100トロイオンス



- ・この資料の無断での複写、転写、転載、改竄または配布は、禁止されています。
- ・この資料は、情報の提供を唯一の目的としたもので、特定の金融商品取引の投資勧誘・奨励を目的としたものではありません。
- ・金融商品取引を検討される場合には、別途当該金融商品の資料を良くお読みいただき、充分にご理解されたうえで、ご自身の判断と責任においてお取引をなさるようお願いいたします。
- ・金融商品によっては所定の手数料等をご負担いただく場合があります、また金融商品によっては証拠金や担保をご提供いただく場合があります。なお、具体的な金融商品が定まっていないため、現時点では手数料・証拠金・担保等の額または計算方法およびその比率をお示しすることはできません。
- ・金融商品によっては、金利水準、為替相場、株式相場等の金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により、お客様に損失が生じることがあり、またこの損失がお客様からご提供いただいた証拠金・担保(もしあれば)の額を上回るおそれがあります。
- ・商号等／株式会社新生銀行 登録金融機関／関東財務局長(登金)第10号
加入協会／日本証券業協会 一般社団法人金融先物取引業協会